



日商簿記検定試験



日商簿記検定試験とは

企業、経済、ひいては社会を見る眼が養えます!

簿記は、企業の経営活動を記録・計算・整理して、企業の経営成績と財政状態を明らかにする技能で、この習得度を測るのが、日商簿記検定試験です。

企業の活動を適切かつ正確に情報公開するとともに、経営管理能力を身につけるために、簿記は必須の知識です。

また、日商簿記が採用している「複式簿記」は、数多くの複雑な企業取引を、数少ない取引要素で分類・整理し、総合的な経営情報を提供するのに適しており、企業が追求する利益はこれにより求められます。

もはや、経理・財務担当者だけでなく、あらゆる企業、職種に携わる人たちに必要不可欠なビジネススキルです。

多くの企業が採用や人事制度、自己啓発に活用しており、取得を奨励しています。

「日商簿記検定試験」はこんな方にオススメ!

すべてのビジネスパーソンに

簿記を理解することによって、企業の経理事務に必要な会計知識だけではなく、財務諸表を読む力、基礎的な経営管理や分析力が身につきます。

就職を控えた学生に

新入社員に「日商簿記検定 3 級合格」を必修試験としている企業や昇進・昇格の要件にしている企業もあります。

学生の間に簿記検定試験に取得することで周りとの差をつけ、就職活動でのアピールも可能です!

学校・企業のイメージ向上に!

大学や短大の推薦入試、単位認定の基準に採用されるなど、年間で約 52 万人の方々が受験する「日商簿記」として社会的に高い信頼と評価を得ています。

統一試験とネット試験

日商簿記検定試験には、「統一試験方式」と「ネット試験方式」の 2 つの試験方式があります。

「統一試験方式」は、会場集合型の紙試験で、年 3 回(6 月・11 月・2 月)に試験を行っています。「ネット試験方式」は、全国のテストセンターで受験する CBT 方式の試験で、試験日・試験期間の制限はなく、随時申込み・受験が可能です(受験停止期間を除く)。

お申込みはいつでもインターネットでのお手続きのみとなります。

※最新情報は、日本商工会議所ホームページ
(商工会議所の検定試験 <https://kentei.ne.jp/>) をご確認ください。

統一試験

(2021 年度 全国分試験結果)

	受験者(人)	実受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
1 級	20,699	16,788	1,681	10.0
2 級	78,400	62,785	15,429	24.6
3 級	168,744	142,626	50,060	35.1

ネット試験

(2020 年 12 月～2021 年 12 月 全国分試験結果)

	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
2 級	101,674	41,651	41.0
3 級	199,464	82,767	41.5

試験概要

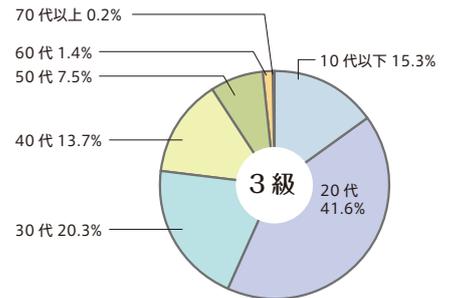
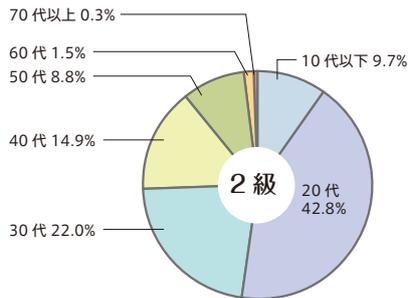
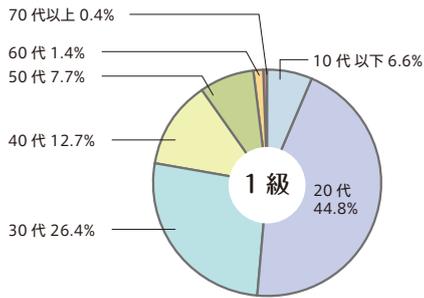
試験方式	試験概要	試験回	試験日	実施級	団体申込期間	個人申込期間
統一試験	会場集合型の紙試験	第 161 回	6 月 12 日(日)	1・2・3 級	4 月 11 日(月)～ 4 月 18 日(月)	4 月 25 日(月)～ 5 月 2 日(月)
		第 162 回	11 月 20 日(日)		9 月 20 日(火)～ 9 月 27 日(火)	10 月 4 日(火)～ 10 月 11 日(火)
		第 163 回	2023 年 2 月 26 日(日)	2・3 級	12 月 20 日(火)～ 12 月 27 日(火)	2023 年 1 月 10 日(火)～ 1 月 17 日(火)
ネット試験	全国のテストセンターで 受験する CBT 方式	—	随時 ※受験停止期間を除く	2・3 級	—	—

	受験料(税込)	試験時間	各級の基準
1 級	7,850 円	3 時間	極めて高度な商業簿記、工業簿記、原価計算ならびに会計学を修得し、財務諸表規則や企業会計に関する法規を理解し、経営管理や経営分析ができる。
2 級	4,720 円	90 分	高度な商業簿記および工業簿記(原価計算を含む)を修得し、財務諸表を読む力がつき、企業の経営状況を把握できる。
3 級	2,850 円	60 分	経理関連書類の読み取りができ、適切な処理を行えるようになる。

※受験料の他に受験級ごとに事務手数料として 550 円(税込)が必要です。

受験者データ

2021 年度年代別受験者数(東京・横浜)



団体受験とは

統一試験について、企業や学校などで受験者人数が10名以上の場合に、インターネットでまとめてお申込みいただける制度です。

メリット

受験希望者の申込みを
確実に行うことができます!

支払いを一括・個別か
選択できます!

受験者全員の成績を
管理することができます!

団体受験の流れ

STEP 1 団体新規登録 申込前

団体申込期間に各種団体情報、担当者名等を登録します。登録すると団体管理ページのIDが発行されます。

STEP 2 受験者情報の登録 約60日前

STEP1で登録されたID・PWより、団体管理ページにログインして受験者情報を登録します。登録方法は2通りあります。

- (1) 受験者個人が自分でネット申込ページから登録する方法
- (2) 団体担当者がまとめて受験者情報を所定のフォーマットに入力して一括アップロードする方法

STEP 3 団体情報・受験者情報の確認 約50日前

団体管理ページより団体情報の確認や受験者情報を確認します。

STEP 4 受験料を支払う 約40日前

受験者情報が確定したら受験料を支払います。
※支払方法は、団体新規登録時に入力します。

試験実施

STEP 5 成績一覧をダウンロードする 約20日後

「簿記とは...?」
こんなご意見を
いただいています!



「簿記知識」は、世界共通の「ビジネス言語」であり、日々の営業活動を記録し決算書を作成したり、事業会社の経営状況を分析する上でも欠かすことのできない重要な基礎知識と認識しています。

企業に勤めていると、簿記を通じて学ぶ言葉がたくさん出てきます。「引当金」にしても、「減価償却」にしても、意味を理解していないと仕事の話が出来ません。簿記を学ぶことは、仕事をするうえで必要な言葉を学ぶことでもあるのです。

合格を目指して学修した知識や技能が社会に出て実際に活用できます。社会に出ると、様々な場面で意思決定が必要となりますが、経理部門でなくとも、営業部門等あらゆる部門の意思決定で簿記・会計の知識は不可欠です。

さまざまな経営指標の基本である簿記は、経営者が意思決定をする時に、お金の観点で間違いのない判断をするための、いわばパートナーです。また、簿記は、あらゆる活動をお金という軸に換算してくれますから、管理職であれば必ず学んで欲しい知識です。

近年では新入社員が入社直後から円滑に業務をスタート出来るよう、**内定期間中の合格を奨励**しており、多くの新入社員が簿記知識を習得した上で入社を迎えています。

日々の売買取引や事業投資といった営業活動が簿記・会計上どのように処理され、財務諸表にどう反映されるかを理解することは、**企業で働くビジネスパーソンにとって必要不可欠**です。

英語が話せないと外国の方と話ができないように、**簿記を知らずに財務諸表は読めないし、ビジネスモデルは理解できません**。利益と現金の違いや、資産が将来は費用になることは、簿記を学ぶことで理解できます。

詳細・お問合せ 東京商工会議所 検定センター

☎ 050-3150-8559 (土日・祝休日・年末年始を除く 10:00 ~ 18:00)
<https://kentei.tokyo-cci.or.jp/boki/>

— 日商簿記検定試験ウェブサイト —

🔍 日商簿記検定 東京 検索

